

# 社会人の声

三高で過ごした時間が、  
今のわたしをつくってくれた。



## 夢への架け橋

藺部 陽美

(国田中学校出身・家政科卒)  
石岡市立石岡小学校 勤務

私が入学した家政科では、食物や被服、保育の分野を基礎からしっかりと学ぶことができました。

食物の分野では、学んだことを活かすために、毎年数々の料理コンテストに出場していました。私自身も、先生方の熱いご指導のもと料理コンテストで最優秀賞を二回いただくことができました。この経験は夢を叶える一歩となり、かけがえない経験となっています。

また、被服の授業では和裁から洋裁まで幅広く学ぶことができました。特に授業で製作したゆかたは、今でも夏に着ており、着るたびに三高時代の楽しかった日々を思い出します。

今私は、中学生の頃からの「栄養教諭になりたい」という夢を叶え、小学校の栄養教諭として毎日楽しく働いています。私がこのように夢を叶えられたのは、家政科で将来に繋がる勉強や経験ができたからだと思います。

みなさんも水戸三高で夢への第一歩を踏み出してみませんか？



## わたしを創ってくれた場所

梶山 真理絵

(大宮中学校出身・音楽科卒)  
日立市立大久保中学校 勤務

音楽科で過ごした時間は、人生で一番実りのある、笑顔溢れるものでした。

受験を決意した中学生の頃は、音楽の世界に入ることには不安がありました。しかし入学してみると、多くの練習室や週一回のきめ細やかなレッスンなど、音楽に打ち込む環境が整っていました。素晴らしい高校時代を過ごせたことにとっても感謝しています。音楽を一生懸命学びたい人、音楽が好きの人にはぴったりの学科だと思います。

演奏家として活躍する友人や、音楽の勉強を続ける友人など様々ですが、音楽科で出会った友人とは今でも連絡を取り合っており仲良くしています。良き友人を持てたことも三高に入学して得た宝の一つだと思います。

今わたしは音楽の教員として中学校に勤務しています。三高で出会った先生方のように「生徒たちのために」を目標に日々奮闘しています。みなさんがわたしたちの後輩になってくれることを心待ちにしています。

“三高とわたし”について語ります！



## 未来の三高生へ

山崎 芽依

(下館西中学校出身・普通科卒)  
結城市立結城小学校 勤務

「おはようございます」。30人のかわいい子どもたちに毎日そう言えるのは、三高での三年間があったから。心からそう感じています。

私は今、茨城県で小学校の先生をしています。大学卒業後、四月から担任を持ち、慣れない仕事や社会人の大変さを実感する日々を送っています。そんな私を支えているのが、三高での三年間。学生生活の中で一番勉強をし、一番遊び、様々なことに挑戦した充実した毎日でした。本当に楽しかった。私は三高生であったことが誇りであり、自慢です。

さらに私が高校生活を濃いものにすることができたのは、高め合える友達に出逢えたからです。そして、私を信じ、私の夢や人生を全力で応援してくれる先生方に出逢えたからです。

夢や目標をもっている人を、これから夢や目標をみつける人を、温かい気持ちと心強さをもって背中を押してくれるのが三高なのです。

春にロマンス坂を登り、三高の門をくぐる日を、私をはじめとする三高卒業生、そして、先生方が待っています。



## 一生涯の友達をもてた場所

酒井 智可

(佐野中学校出身・普通科卒)  
株式会社JAL スカイ  
オペレーション部門 勤務

私の三高時代を象徴させるものは、部活動と仲間です。

私は陸上競技部に所属しており、暑い日も寒い日も練習に励んでいました。練習は楽なものではありませんでしたが、厳しい練習を仲間と励まし合いながら乗り越えたからこそみんなで結果を残すこともできました。高校時代で得た粘り強さ、地道な努力を重ねることの大切さや仲間を思う大切さは、いまの私の原点であるように思えます。

振り返ってみると、三高で過ごした3年間は笑顔に溢れていて学校に行くことが毎日楽しみでした。また、三高の先生方はとても優しく、どんな小さな悩みでも親身になって話を聞いてくださり、背中を押してくれるので心強く感じました。

私は現在、地元を離れ成田空港で大好きな英語を活かしながら働いています。休日に地元に戻ると、やはり会うのは高校で出会った友達です。素敵な仲間や先生方に出会える水戸三高で、青春時代を過ごしてみませんか。みなさんが三高生になるのをお待ちしております。